

科目名称：	音楽表現指導法 I	
担当者名：	西方 彰	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>小さい子供達の魅せる音楽として感動を呼ぶマーチングであるが、指導時に必要な歩き方や姿勢、動作、ドラムメジャーやカラーガードの技術、楽器の持ち方、演奏の方法、フォーメーションの作り方など指導者は習得すべき項目が幅広く多い。しかし、これらの事は自らが体験し発表の場を目指す事により、比較的容易に習熟度が上がるものと考えている。よって本授業では本学が毎年行うミュージックフェスティバルを発表の場として、ひとつの目標としながらも、将来指導の場実践的に役立つ技術を知り、経験し、より良い指導者としての十分な知識と考え方を有するようになる事を目的に演習を行っていく。</p> <p>前期は動き方等中心の授業のためリズム室の授業では動きやすい服装で参加すること。又、教科書を事前に見ておくことと動作のイメージがつかみやすい。用語などを組み合わせていくため、前期の授業では毎回教科書持参のこと。尚、授業形態は特化音楽の中で分割した2グループを交互に授業する。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
前期においては、マーチングの動作や手具の基本的な扱い方等を習得することで、マーチングのすばらしさを体験しながら各種動作や方法をマスターすることを目標とする。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)		60		40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 各地幼稚園、保育園への音楽指導	《経験年数1》31年
	《内容2》 各地幼稚園、保育園へのマーチング指導	《経験年数2》31年
	《内容3》 日本マーチングバンド協会公認指導員	《経験年数3》30年
	《内容4》 小中高校、一般のマーチングバンド指導	《経験年数4》33年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 幼児のマーチングの解説、現況説明 (教室)	シラバスを読んでおく	10分
第2回 簡単な整列の仕方、停止間の動作 (リズム室)	幼児のマーチングの解説、現況についての復習	10分
第3回 歩行、方向転換 (リズム室)	簡単な整列の仕方、停止間の基本動作の復習	30分
第4回 初心者でもできるL字動作 (リズム室)	前回の基本動作及び用語の理解	60分
第5回 L字動作のまとめ (リズム室)	L字の復習	60分
第6回 コンビネーション(簡単なフォーメーション)で使用する動き (リズム室)	用語の理解	10分
第7回 コンビネーション① (リズム室)	用語を使用し組み合わせる	10分
第8回 コンビネーション② (リズム室)	用語による動きの確認	30分
第9回 コンビネーションのまとめ (リズム室)	動きの完成度を高める	60分
第10回 カラーガーズ(旗)の基本操法 (リズム室)	コンビネーションの復習	10分
第11回 楽しいカラーガーズの振り付け (リズム室)	基本操法による振り付け作成	60分
第12回 ドラムメジャー(指揮者)の基本操法 (リズム室)	楽しいカラーガーズの振り付けの復習	10分
第13回 ドラムメジャーを先頭にパレード (リズム室)	各種サインの復習	30分
第14回 マーチングパーカッションの基本 (リズム室)	前回の復習	10分
第15回 まとめ及び小テスト:発表 (リズム室)	バチの持ち方や叩き方	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内実技小テスト60% 課題に対して積極的な関与40%の総合評価

課題に対するフィードバック

実技試験は各動作のチェックシートを使用して各個人を採点し、全員に配布する

教科書・参考書

教科書: 「幼児のマーチング改訂版」 西方 彰 自著